

一般社団法人 奈良県臨床検査技師会 2024年度第10回通常理事会議事録

開催日時：2025年2月13日（木）18：30～19：50

開催場所：電磁的会議（Zoom使用）にて実施

出席者：森嶋、小谷、嶋田、北川（孝）、大西、倉田、中島、上杉、西原、
小泉、中村、松村、高木、西浦、梅木、小林（昌）、北川（大）、
吉岡、山本

欠席者：三角

議長：小谷

I 理事行動報告（2025年1月9日から2025年2月12日）

1. 第3回予算委員会：1月9日（木）／県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局 森嶋、小谷、嶋田、北川（孝）、大西、倉田、中島、上杉、西原、小泉、中村、松村、高木、西浦、小林（昌）、三角、北川（大）、吉岡
2. 第9回通常理事会：1月9日（木）／県立医科大学附属病院 中央臨床検査部技局 森嶋、小谷、嶋田、北川（孝）、大西、倉田、中島、上杉、西原、小泉、中村、松村、高木、西浦、小林（昌）、三角、北川（大）、吉岡
3. 2024年度「施設代表者連絡責任者合同会議」：2月1日（土）／県立医科大学厳櫃会館 森嶋、北川（孝）、大西、倉田、西原、小泉、松村、高木、小林（昌）、北川（大）、吉岡、山本
4. 2024年度「地域ニューリーダー育成研修会」：2月1日（土）／県立医科大学厳櫃会館 森嶋、北川（孝）、大西、倉田、西原、小泉、松村、高木、小林（昌）、北川（大）、吉岡、山本
5. 2024年後期源泉所得税の納付手続書類作成（税理士立会）：1月12日（日）
／南奈良総合医療センター 上杉
6. 滋賀県臨床検査技師会創立70周年・法人設立40周年記念式典：2月11日（火）
／クサツエストピアホテル 森嶋
7. 2025年日臨技賀詞交換会：1月24日（金）／都市センターホテル 嶋田、倉田
8. 日本技師連盟代表者会議：1月25日（土）／都市センターホテル 嶋田
9. 日臨技理事会（第6回）：1月25日（土）／都市センターホテル 倉田

以上の理事行動報告が確認された。

II 役員等派遣報告

1. 滋賀県臨床検査技師会創立70周年・法人設立40周年記念式典：2月11日（火）
／クサツエストピアホテル 森嶋

Ⅲ 会議、委員会等開催報告

1. 第 6 回公開講演会会議：1 月 23 日（木）/オンライン 高木、小谷、吉岡、西原

以上の会議、委員会等開催報告が確認された。

Ⅳ 経過報告

【会長】

1. 特になし

【事務局総務部】

1. 1 月 7 日（火）：NOP 法人 子宮がんを考える市民の会より、4 月 9 日「子宮頸がんを予防する日」集中キャンペーン寄付のお願いが届いた。例年同様に寄付は行わないことにした（資料あり）
2. 1 月 20 日（木）：慈慶医療科学大学事務局より、2024 年度学位授与式の開催について案内があった。（資料あり）
3. 2 月 5 日（水）：日臨技より令和 6 年度各賞表彰候補者選考結果のお知らせがあった。（資料あり）
4. 2 月 5 日（水）：日臨技より「臨地実習指導者への臨床検査技師養成教育カリキュラム等における臨地実習の各論点課題に対する意見とりまとめ提言書（案）」の概要のお知らせがあった。（資料あり）
5. メール送信履歴
 - 1) 施設連絡責任者宛
3 月 16 日に開催される公開講座について、実務委員募集の協力依頼を行った。送信日時は 2 月 3 日付。【南部地区担当 山本】
 - 2) 会員個人宛
 - 1 月 30 日（木）：奈臨技会員のための研修会 開催のお知らせ
 - 2 月 2 日（日）：2024 年度奈良県臨床検査協議会研修会のお知らせ
 - 2 月 5 日（水）：令和 6 年度 近畿支部研修会 「臨床化学研修会」 開催案内のお知らせ
6. 庶務部会について
特になし

7. 会員の異動について

[正会員数] 726 名 (2025 年 2 月 2 日現在) 入会累計 51 名
前年度 707 名 継続会員 675 名
新入会 0 名 再入会 0 名
変更者 5 名 (転入 1 名、転出 1 名、施設変更 3 名)
退会者 5 名

【事務局経理部】

1. 2025 年度予算案編成について

第 3 回予算委員会にて各部局支出の部予算案および収入の部予算案を審議した。最終予算案は、経理部で整理し、第 4 回予算委員会で提示することとした。なお、第 3 回予算委員会概要記録は別紙の通りである。
(資料あり)

2. 源泉所得税及び復興特別所得税の納付について

1 月 16 日、2024 年 7 月から 2024 年 12 月までの源泉所得税及び復興特別所得税の納付手続きを行った。

3. 会計処理について

2 月度会計について、処理を行った。

【組織法規部】

1. 2 月 1 日 (土) 施設代表者連絡責任者合同会議、地域ニューリーダー研修会を無事に執り行うことができました。参加者 18 名 (交礼会 16 名)

2. 3 月 16 日 (日) 奈臨技会員のための研修会 案内を事務局より一斉送信していただきました。(資料あり)

奈臨技ニュース 3 月号にも掲載お願いしています。

【学術部 検査研究部門担当】

1. 特になし

【学術部 精度管理担当】

1. 2024 年度精度管理事業報告書を作成完了しました。作成完了後は、昨年度同様にホームページへのアップおよび各都道府県へのお知らせメールの配信を事務局へ依頼する予定である。

【学術部 生涯教育担当】

1. 2月19日（水）、2月21日（金）に生涯教育研修会（Web）を開催予定である。

【渉外部】

1. 第6回公開講演会会議を行った。（資料あり）
宣材の手配を行い県内施設と後援団体13か所に順次発送している。

【地域保健事業部】

1. 特になし

【地域保健事業部 公衆衛生担当】

1. 特になし

【福利厚生部】

1. 特になし

【広報部】

1. 奈臨技ニュースについて
2024年2月第368号を発行した。

【地区担当部】

- 北部) 特になし
中部) 特になし
南部) 特になし

以上の経過報告を承認した。

V 会計報告

1. 1月分の収支状況について（資料あり）

VI 議題

【会長】

1. 「災害対策委員会」設置の提案

活動内容

- 1) 「奈臨技災害対策マニュアル」の改訂
- 2) 「奈良県および他団体との締結」の準備
- 3) 災害時の日臨技との連携
- 4) 災害時訓練の整備（連絡網など/年）

委員

会長、副会長（技連支部長）、事務局長、日臨技担当理事、地区理事等

「災害対策委員会」設置に向けて上記の活動内容、委員に関しての提案が出され、審議の結果、承認された。

2. 各委員会設置についての確認（資料あり）

各委員会設置について届出方法、書式が示され確認された。

「災害対策委員会」に関して、2025 年 4 月 1 日から設置したいとの報告がなされ承認された。

3. 実務委員の日当（旅費規程）の改訂について（資料あり）

旅費規程（平成 30 年 5 月 10 日改正）が提示され、各委員会で実務委員費用を確認し、2026 年度運用に向けて検討されることが報告された。

【学術部 精度管理担当】

1. 2024 年度奈臨技精度管理事業調査報告書 PDF 版が完成し、以下の URL よりファイルダウンロードが可能であることが報告された。

<https://94.gigafile.nu/0221-caef2a8b622cce94c11dab8e6c1b930b4>

施設の特定ができないように報告書は作成されており、昨年同様に奈臨技ホームページ精度管理コンテンツページへアップすることが承認された。

【学術部 生涯教育担当】

1. 2 月 19 日、2 月 21 日に開催される生涯教育研修会の 1 研修会当たりの講師料 5,000 円を 4 人の講師で分割し、1 人当たり 1,250 円ずつ講師料をわ

たすことが報告され承認された。

【渉外部】

1. 合同事業計画

公開講演会（併設検査展）と地域保健事業部・公衆衛生担当の「検査と健康展」を合同開催し、実務負担や開催費用の軽減となるためにこれらの検査展を統合する案が提案されたが、渉外部内で再検討し、継続審議することとなった。

2. リソース一元管理計画

合同事業計画に関連し、在庫状況を確実に把握する目的のために技師会所有の物品を一か所で集約し保管する計画を提案されたが、技師会所有の物品類は、現在すべて天理よろづ相談所病院内で管理されていることが報告された。古くなっている機器もあることから奈臨技所有の機器をリストアップし、機器購入もしくは機器リースするのかが今後の課題とすることとなった。

3. 副理事の配置

代理者を明確化するために各部門に「副理事」等の人員を置くことが提案されたが、組織運営を確実に実行するために各委員会内で副委員長を設けるなど各委員会内で再考することが決定された。

4. 技師会関連イベントへの自施設物品持ち出し禁止の明文化

自施設からの全物品借用禁止なのか、それとも一部は可能なのかがはっきりしないため、その規約を明文化していただきたいとの提案がなされたが、消耗品・物品類は奈臨技の予算内で購入またはリースにより運営されることが決定された。

【その他】

1. 学術担当副会長嶋田

精度管理事業において実施している長期精度管理調査を下記①～⑦の理由により2024年度で事業を停止したいとの意見が出され、審議の結果、中止の方向で進めることが承認された。

- ①参加施設数は 20 数施設と精度管理事業に比べ約 1/3 程度であること。
- ②試料は精度管理事業と同一試料を年 5 回（精度管理含めると 6 回）使用しているが、同一試料のため誤差要因の解析がパターン化している。
また、同一試料の測定であれば日常行われている各施設での精度管理と何ら変わりがない。
- ③試料発送に業者便を使用しているが、時代にそぐわない。
- ④事業創設時より担当者が同一で個人負担が大きい。
- ⑤精度管理報告書に報告が行われていない。（発送翌月に自施設データを公表しているのみで全体解析まで実施できていない）
- ⑥それでいて、参加施設からの問い合わせもない。全国でも珍しい事業と評されるが、実態は個人負担に任せての運用であり、かつ、効果も認められない。
- ⑦日臨技や医師会、奈臨技サーベイで代用できる。また、自施設の同一試料を用いた精度管理で代用できる。

また、2025 年度の長期精度管理調査中止の案内文（案）を作成し、次回理事会にて提示され審議されることが報告された。

VII 会議、委員会等開催の申請について

1. 福利厚生部委員会開催予定
・アウトドア行事開催について（日未定）
2. 第 7 回公開講演会会議予定（日未定）
3. 第 4 回生涯教育委員会（日未定）

その他審議事項なし

2025 年 2 月 13 日
一般社団法人 奈良県臨床検査技師会
会長 森嶋 良一
監事 小林 史孝
監事 下村 大樹